

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あざみ苑

## 目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 03 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	小学校、中学校の職場体験や、保育園児との交流は多いが、地域の住民との関係が薄いので、グループホームが、地域に必要な事業であることを理解してもらい相談や、協力関係を築いていくことを工夫していく。	職員が積極的に地域の行事や会議に参加し、ホームの介護に関する知識や情報を活かし、高齢者や、その家族の悩みや心配事の相談を受けて、解決に向けた支援が出来るように努力し、地域との相互協力関係を築いていく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化が進み、職員の勤務体制等で、日常的な外出が困難な状態であるが、職員のやる気と、勤務体制に配慮し、利用者が、希望する外出の支援に取り組んでいく。	散歩や買い物、ドライブ等に随行してもらえる、ボランティアを募り、利用者が日常的に外出できるように取組み、利用者の生き甲斐に繋がる外出の支援を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。